

## 社会福祉法人 えどがわ

「社会福祉法人えどがわ」は、区内の全私立幼稚園及び全私立保育園の設置者・園長により設立され、これまで培ってきた経験と英知を集結し、「養護・教育・家庭支援」の三本柱を中心とした施設運営を行っています。

子どもの健やかな成長を目指し、一人ひとりの個性を尊重しながら時代に相応しい、保育園の運営スタイルを確立していきます。

### \*\*\*\*\* 基本理念 \*\*\*\*\*

#### 【養 護】

個々の子どもの最善の利益を守り、安全で快適な生活環境のもと、心身の発達を促し、基本的な生活習慣を身につける。

#### 【教 育】

子どもたちが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達を援助する。

#### 【家庭支援】

すべての子育て家庭を対象として、地域の実情を把握し、保護者のニーズに対応できるよう、子育てに関する相談、助言、支援を提供する機能を備える施設づくりに取り組む。

### ===== 基本方針 =====

平成28年度は、法人設立15年目を迎える節目の年度となります。

また、運営施設も19園となり、保育園を運営する社会福祉法人として都内で最大規模であり、全国でも株式会社を除くと3本の指に入る法人へと成長しました。

今後も民営化による事業拡大が求められる法人として、保護者や地域の理解を得ながら、子どもを第一に考えた丁寧な引継を実施することで、更なる信頼の獲得と運営基盤の強化を図っていきます。

法人設立時の基本理念である ①養護 ②教育 ③家庭支援 は不変ですが、その実現の手段や取組方法は、時代の変化・保護者ニーズ等に応じた適切な対応が必要です。

15年目の節目を迎え、改めて法人理念の実現に向けたあり方について、全管理職が中心となって十分に検討を深め、全職員が理念実現のあり方について共有できる法人組織づくりを目指していきます。

# 社会福祉法人えどがわ事業計画（案）

## 計画の背景

全国的な少子化が進む中であって、女性の社会進出やライフスタイルの変化に伴い、認可保育園への入園希望者は年々増加し、国の待機児童数は5年ぶりの増加となった。

国は、待機児童の解消を目指し、「待機児童解消加速化プラン」により、平成29年度末までに約40万人分の保育の受け皿を確保するとされていたが、「一億総活躍社会」の実現に向け、この保育の受け皿を更に50万人まで拡大するとしている。

この保育の受け皿の確保には、保育を支える保育士の確保が必要不可欠であるが、東京都内における保育士の求人倍率は5倍を超え、各事業者間で過大な競争をも引き起こしている。

今後、ますます事業拡大が求められる当法人にとって、安定的な施設運営を継続していくためには、優秀な人材確保と強固な財政基盤が絶対的な要件である。

そのため、中長期的な視点に立った計画を策定し、**人材(組織)・財務の両面**にわたる強固な体制を確立していくことが、今、求められている。

## 中長期計画

### ◎優秀な人材確保と離職防止

- ・従来の求人对策を見直し、最も実効果が高いと考えられる学校との連携（協力校や支援校づくり）に力を注いでいく。
- ・人材育成(研修)計画に基づき、「求められる職員像」を目標に各種研修を実施し、職場の活性化と職員のやる気や向上心を高め、キャリアアップの推進を図る。
- ・働きやすく、働き続けたいと思える職場づくりのため、業務負担の軽減・労働条件の見直しなど、様々な労働環境の整備を進めていく。

### ◎課題解決型の法人組織づくりと財政基盤づくり

- ・組織自らが法人の方向性を定め、一体となってその方向を目指すことができる組織づくりと職員の意識改革を行っていく。
- ・適正な資金管理と資金運用により安定的な施設運営を行うとともに、施設改修など将来負担を見据えた強固な財政基盤を確立していく。

## 事業計画

- ・安全で安心な保育
- ・効率的な保育園運営
- ・働きやすい職場づくり
- ・将来に不安のない勤務体制
- ・イメージアップとブランディング

別紙参照

# 社会福祉法人えどがわ事業計画(案)

イメージアップと  
ブランディング

安全で安心な  
保 育

以上を実現することにより、  
理想の法人運営を目指します

将来に不安の  
ない勤務体制

効率的な  
保育園運営

働きやすい  
職場づくり

## 具体的な取組み方法

### ○安全で安心な保育

- ・ 専門業者による施設・設備の総点検 ⇒ 区との協議(役割分担の明確化)  
※施設整備長期計画の策定、維持工事へのコンサル導入
- ・ 給食用厨房機器の総点検 ⇒ 買替、修理 ※長期計画の策定
- ・ 老朽化備品の買替、安全を考慮した施設点検 ・ 危機管理計画策定と訓練の実施

### ○効率的な保育園運営

- ・ おひさまネットワークの構築による情報の一元化  
※グループウェアによるスケジュール管理や共有キャビネット、決裁システムの導入
- ・ 給食管理システムの導入(一部委託化による統一献立への対応) ※ネットワーク化
- ・ マイナンバー制度に対応した人事・給与システムの導入(28年1月稼働)  
※人事管理、出退勤システム導入による事務の効率化  
将来的には保育園運営システムを導入(園児管理、シフト管理、日誌等保育管理など)
- ・ 会計事務の見える化(クラウドシステムによる会計処理のリアルタイム化)

### ○働きやすい環境づくり

- ・ 事務負担の軽減対策(現金処理の簡素化、書き物の標準化とシステム化など)
- ・ 労働条件の緩和等(年間労働時間、育児・介護休暇、土曜出勤、早番遅番など)
- ・ おひさま会の見直し(全員加入と使いやすい福利厚生制度の検討)
- ・ 賠償責任保険と労災上乗せ保険への加入、統一被服の貸与(ポロシャツ・Tシャツ・エプロン等)

### ○将来に不安のない勤務体制

- ・ 財源を見極めた処遇改善の検討
- ・ 住宅借り上げ事業、育児休業期間の延長、保育士資格取得支援事業の実施等
- ・ キャリアパスに繋がる研修計画策定と昇任選考の実施
- ・ 適正な資金管理と資金運用による健全財政の堅持

### ○イメージアップとブランディング

- ・ 法人、おひさま保育園紹介用ビデオ制作と法人ロゴ・徽章の作成
- ・ ホームページの完全リニューアル(情報発信の統一化、双方向通信の検討など)
- ・ 外部へ向けた情報発信(広報板の活用、園周辺の雰囲気づくり、地域との繋がりなど)
- ・ おひさま保育園の特徴づけ(養護・教育・家庭支援・給食・男性保育士 など)

# 平成28年度 葛西おひさま保育園事業計画(案)

## 1. 保育方針

明るく、健康で、挨拶がはきはき出来る子。

家庭に代わる場として、子ども達を温かく見守り、挨拶をはじめとして躰を大切にしていきます。

思いやりのある優しい心を育む。

園児一人ひとりの個性を大切にし、命の尊さや道徳性の芽生えを培い、きめ細やかな手作りの保育を実践します。

感性を大切にし、伸びやかに表現しようとする子。

音楽活動を中心に、積極的に色々な表現を楽しむ意欲を引き出し、情緒豊かな心を育み、感性と創造性を伸ばして行きます。

心身の発達を見守りながら、身体機能の発達を目指す。

子ども達が興味を持って体験出来る保育を実践し、リズム遊びや遊具を通して手先の器用さと、手足のコントロールを楽しく身に付け、脳や身体機能の発達を促します。

## 2. 現状の説明と今後の方向性

入園希望者や延長保育、一時保育、子育てひろばのニーズが非常に高く年々上昇傾向であるため、保育方針を丁寧に説明し、納得した上で利用できるようにしている。職員層が若くなったことで保育の質の向上を目指し、計画、実行、報告、伝達等、様々な業務の見直しを図り、実践していきたい。保護者とのコミュニケーションを心掛け、職員一人ひとりが専門職としてのプロ意識を持ち、職員間の連携を強化し、全職員で全ての子どもの情報を共有し、家庭的な温かい保育を進めていく。設備面については、建物、機器の老朽化が進んでいるため、定期的に点検を行い、安全面に配慮しながら計画的に施設整備を行う。

## 3. 重点目標

重点目標	内容
・保育の質の向上を図る。 (技術・知識・対応)	・一人ひとりが専門職として適切なアドバイスができるようスキルアップを高めていく。また、保護者からの質問、要望には丁寧に答えられるよう共通理解を図り、伝達方法を徹底し、保護者が安心して子どもを預けられるように努める。 ・目配り・気配りを大切に子どものことを第一に考えた保育を行い、自ら考え実践する保育を進めていく。 ・特色である和太鼓、英語、リトミック等、様々な体験を通し集中力や感性を豊かにする。
・地域の子育て支援施設としての機能充実を図る。 (一時保育・子育てひろば) ・保育園情報の発信と共有 ・近隣の小中高生・その他卒園児、ボランティア、実習生受け入れの充実	・子育てひろばでは、安心して親子で楽しんでもいただけるプログラムを基に、育児に対する不安や悩みを気軽に話せる雰囲気作りを行っていく。 ・一時保育については、今後も利用しやすい工夫をする。 ・保護者や地域の方に対し、体験活動や子育て新聞等、情報の発信にホームページ等を更に活用していく。 ・様々な地域の人との繋がりを持てる環境を整え、人と人との関わりの大切さを伝えていく。
・環境整備の強化を図る。 (危険箇所・防災・防犯等) ・ヒヤリハット・感染症	・安全点検を定期的に行い、改修等が必要な箇所については早急に対応をし、子ども達が安全に生活できるように努める。 ・様々な災害を想定し、地域や園の状況に合わせた訓練、不審者対策等を行い、関係機関と連携を図り、職員に周知。また、備蓄品や防犯用品の確認を行い、危機管理意識を持ち、対応できるようにする。 ・ヒヤリハットについては園内研修を行い、改善を行う。 ・感染症は、職員の知識を高め早期発見、対応を行い、掲示にて周知し、子どもの安全と健康に努める。

# 平成28年度 新堀おひさま保育園事業計画(案)

## 1. 保育方針

健康で明るく元気な子

家庭的な雰囲気を大切にし、基本的な生活習慣を身に付け心身共に健やかに成長できるようにします。

感性豊かで自分を表現できる子

個性を大切にし、自分の考えや思いを表現できるようにしていきます。又、音楽教室や体操教室等を通じ頑張る気持ちや達成する喜びを経験出来るようにします。

思いやりのある優しい子

様々な人間関係の中で皆が助け合い、励まし合う気持ちを持ち、日々の生活を送れるよう、温かく受容し見守っていきます。

## 2. 現状の説明と今後の方向性

平成25年度の事故の教訓を今一度思い起こし、改めて職員間で安全についての意識を高く持ち、保育を実践した。ヒヤリハットの検討と安全に対し、あらゆる場面での気づきに繋がるよう、話し合いを重ねたことで事故に繋がる事例が少なくなった。また、職員の知識、意識、専門性の向上を図れるよう、研修や話し合いの機会を繰り返し持った。

12月のお遊戯会は、熟年者と保護者を分け、別日に開催し、保護者席のあり方、兄弟席の設置等を検討し、行った。保護者の立場に立ち、子ども第一の保育を行い、明るく元気な思いやりのある優しい子の育ちを支えていく。

※特別事業記載なし

## 3. 重点目標

重点目標	内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・保育目標の徹底と保護者への理解を深める。</li><li>・組織力を高め、職員の専門職としての知識、技術面での強化を図る。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・保育目標を職員ひとり一人がより深く理解し、信頼される安心で安全な保育園作りを行う。保護者にとって開かれた場となるよう、コミュニケーションを大切にし、職員の専門性を高めるため、あらゆる面からサポートを行う。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・安全対策、危機管理意識の強化を図る。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・BCPのバージョンアップを職員全員で行うと共に、日常に潜む危機、危険についての意識を高めるよう、確認、報告の徹底を図る。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域、子育て支援の場の提供を行う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・従来の子育てに関するニーズを把握し、魅力ある子育てひろばを開催し、子育て支援を展開する。また、地域の公共施設としての役割を担い、地域の方との交流を行い、子育てをしやすい地域作りに協力していく。</li></ul>

# 平成28年度 東小松川おひさま保育園事業計画(案)

## 1. 保育方針

明るく、健康で、挨拶がはきはきできる子。

家庭に代わる場として、子ども達を温かく見守り、ご挨拶を始めとして躰を大切にしていきます。

思いやりのある優しい心を育む。

園児一人ひとりの個性を大切にし、命の尊さや道徳性の芽生えを培い、きめ細やかな手作りの保育を実践します。

感性を大切にし、伸びやかに表現しようとする子。

音楽活動を中心に、積極的に色々な表現を楽しむ意欲を引き出し、情緒豊かな心を育み、感性と創造性を伸ばしていきます。又、表現活動の発表の場として、季節に合わせた行事を取り入れ、園生活を進めていきます。

心身の発達を見守りながら、身体機能の発達を目指す。

子ども達が興味をもって体験できる保育を実践し、リズム遊びや遊具遊びを通して、手先の器用さと、手足のコントロールを楽しく身に付け、脳や身体機能の発達を促します。

## 2. 現状の説明と今後の方向性

民営化から10年目を迎える当園では、原点に戻り、保育を見直していく。具体的には、日常保育や行事を園内研修や各種会議等を通して日々検証しながら、毎日送るようにし、お互いに学びあいながら、職員の資質向上に努めていく。

各種行事やおたより等を通じ、日頃より保護者の方に保育園を理解していただいているが、1日保育士体験等を通じて、更に保育園での取り組みを知っていただくよう努める。

設備面については、建物や備品等の劣化が進んでいるため、安全面に配慮しながら必要に応じて整備していく。

## 3. 重点目標

重点目標	内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の資質向上</li> <li>・音楽活動を通じた年齢に応じた保育の継続と季節にあった行事の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内外の研修に幅広く参加する。ヒヤリハット等を活用し、保育園で直面する様々な場面を学びの機会と捉えるように努める。</li> <li>・和太鼓やリトミックを通して、様々な表現活動を行う。また、年間を通し、季節にあった行事を行うことにより、子ども達の感性を豊かにしていく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギー対策の実施</li> <li>・より安全な保育園のための防犯と防災に努める。</li> <li>・備品等の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と連携を図り、特に食物アレルギーをテーマとした内容の研修にも積極的に参加し、最新の知識の習得に努め、事故の無いように努める。</li> <li>・毎月の避難訓練を始め、不審者訓練や交通安全教室を実施し、万一の機会に備え、職員が組織の中の役割を認識する。</li> <li>・園内で老朽化している備品等の入れ替えを行う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援の場の提供</li> <li>・在園児への家庭支援の強化</li> <li>・継続的な実習生等の受け入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時保育の他、子育てひろばを行い、子育てひろば等を通して子育て情報等の提供を実施。</li> <li>・在園児の家庭支援として、保育園と関わる機会を継続的に設定する。具体的には、園の取り組みや様子を幅広く周知していく。</li> <li>・中高生等の保育体験や養成校の実習等を幅広く受け入れ、未来の人材育成に努める。</li> </ul>

# 平成28年度 北葛西おひさま保育園事業計画(案)

## 1. 保育方針

### 明るく元気な子

家庭的な雰囲気大切に、発育・発達状況を把握しながら健康面に留意し、子ども達がのびのびと生活できる環境を整え、安全面に配慮いたします。そして、丈夫な身体づくりの取り組みを行っていきます。

### あたたかい心・やさしい心を育てる

人間関係を深めながら感謝の気持ちを持ち、みんなで助け合う心が芽生えられるよう、子どもの気持ちを温かく受容し育ててまいります。又、動植物とのふれあいや飼育・栽培などを通して、自分達の生活との関わりに気づき、生命を尊重する心が育てられるよう、努めます。

### 豊かな表現活動と創造力を養う

個性を尊重し、自分の考えや思いを表現できる力を養っていきます。又、さまざまな音楽活動や身体表現、製作活動に取り組み、感性を高められるよう努め、一人ひとりの発育・発達を目指します。

## 2. 現状の説明と今後の方向性

今年度より定期的実施している英語あそびは、日々の保育に取り入れることで、子ども達に定着し、充実した時間となっている。また、体育教室は職員との連携を重視し、子ども達の現状を理解し、個々にあった指導を実践している。当園の特色として、保護者からの支持も高い。

職員状況では、育休取得者3名、民営化異動者2名となって構成に変化が生じた。各職員の能力の向上、新規職員の育成には今後も引き続き力を入れていく。

戸外遊びや保育環境の充実がより一層図れるよう、保育の見直しを進めていく。

## 3. 重点目標

重点目標	内容
・職員一人ひとりの能力と組織力の向上	・個々が自らの保育を見つめ、目標を持ち、達成に努める。 ・様々な研修に参加し、知識を深める。園内研修は職員自らが内容を検討し、学び合える場としていく。 ・園児一人ひとりの様子及び各クラスの保育状況を園全体で把握するように副主任を中心に打ち合わせを密にする。 ・主任、副主任の職務分担の見直しを行い、組織の力を高める。 ・新規及び2年目職員の育成。
・個々の発達と育ちの理解を深め、保育の見直しを行い、子ども達と向き合う保育の実施	・園児一人ひとりを把握、尊重し、言葉掛けや接し方を見直しながら、子どもを第一に考えた保育を実施する。 ・配慮が必要な子ども達への対応方法を学び、実践していく。 ・環境構成や玩具、食育に対する考え方と活動を見つめ直し、改善していく。
・安心、安全な保育園作り	・様々な想定での避難訓練を実施し、職員一人ひとりが自ら考えて行動出来るよう努める。 ・防災担当の職員を中心に「安全管理マニュアル」の見直しを行い、全職員で共通理解をする。 ・施設の点検を定期的に行い、修理が必要な箇所においては必要に応じて迅速に対処する。 ・ヒヤリハットを活用し、職員の意識を高める。



# 平成28年度 葛西第二おひさま保育園事業計画(案)

## 1. 保育方針

明るく健康で元気な子

ひとりひとりの子どもの置かれている状況を把握し、子どもをあたたく見守り、安定感と信頼をもってのびのびと活動できるようにします。

思いやりのある、あたたくやさしい子

みんなで協力し合い、感謝の気持ちを持ち、相手の気持ちを思いやる心が育てられるように努めます。

自己主張ができ最後までがんばる子

個性や能力を伸ばすことができるようなさまざまな活動(音楽・製作・身体表現)を取り入れよく見て、自分の考えや思いを養っていきます。

## 2. 現状の説明と今後の方向性

恵まれた環境を活かし、戸外活動(散歩)を保育に取り入れ、健康な身体づくりを実施している。園の情報発信(おたよりの増刊、写真の掲示等)を増やし、保育園運営の理解がより深まるように努めた。

平成27年度の第三者評価の結果を真摯に受け止め、園運営や保育内容に対する課題を見出し、見直しを図っていきたい。また、行事内容、日々の保育の振り返りを行うことで、より良い保育の継続、向上を目指していく。

防犯カメラ、電子錠の導入により、防犯対策の強化を図った。防災避難訓練では例年通りの訓練実施となっている部分も多いため、あらゆる場面を想定して新たな訓練計画を検討していく。

## 3. 重点目標

重点目標	内容
<ul style="list-style-type: none"><li>一人ひとりの育ちを大切にする保育</li><li>職員のチーム力、保育力向上</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>発達を学び、毎日を大切に丁寧な保育を実践していく。</li><li>英語、リズム、体育あそびは講師と共にねらいを明確にし、日々の保育や行事活動に繋げていく。</li><li>チーム力、保育力を向上させるために大切なことは何かを職員全員で考え、必要に応じた会議、園内研修を充実させる。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>保護者支援 信頼関係と家庭支援</li><li>地域子育て支援</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>保護者とのコミュニケーションを大切にし、信頼関係を築いていく。保護者一人ひとりの家庭状況に寄り添い、個に応じた丁寧な対応をしていく。</li><li>子育てひろばでは遊びの場を提供すると同時に保護者の育児不安を解消できる窓口となる支援を行っていく。</li><li>一時保育では今後も利用しやすい工夫をしていく。</li><li>保育体験を実施する。(9月から実施予定)</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>危機管理、防災対策の意識を高める。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>毎月の防災避難訓練をあらゆる角度から起こり得る状況を想定し、訓練を実施していく。(BCPの策定)</li><li>ヒヤリハットのあり方を検討し、事例を振り返り、危機の発見、回避に努めていく。</li></ul>

# 平成28年度 春江おひさま保育園事業計画(案)

## 1. 保育方針

### 心身ともに健康な子

家庭に代わる場として子ども達を温かく見守り、身体発達を促すために生活習慣や衛生的環境・規則正しい食生活を身につけていきます。

### 意欲を持って活動し、自分を表現できる子

一人ひとりの子ども達にきめ細やかに対応し、さまざまな経験(自然・音楽・運動・製作活動等)を取り入れ、自由に表現する力を養っていきます。

### 思いやりを持って人と関わり、友だちを大切にできる子

異年齢児、友達との関わりを大切にし、思いやりの心、感謝の気持ちを育てていきます。みんなで協力しあい、互いに認められる優しい心を育みます。

## 2. 現状の説明と今後の方向性

各学年が2クラスあること、事故回避のために、異年齢での園庭使用をしない習慣があり、戸外遊びが限られ時間でしかできていない。特に乳児については砂遊び等の機会も少ないため、砂場の環境構成を考え、楽しく遊べる工夫と玩具の用意をしていきたい。また、散歩や畑などの戸外に出る機会も増やしていきたいと考えている。

小学校は運動会の校庭借用や音楽会のリハーサル見学、中学校は吹奏楽部の夕べのコンサート開催等で関係は構築されており、今後も継続していきたい。高校との関係作りもねぶたの見学を通して進められてきたので、避難訓練の協力等、更に進めていきたい。

個々の保育士の力をチームの力に変え、行事等に全員で取り組んでいく雰囲気と取り組み方を考えていく。

## 3. 重点目標

重点目標	内容
・ 戸外遊びの充実	・ 砂場遊びをしたくなる様な玩具の購入と設定を考え環境を整えていく。 ・ 散歩や戸外遊びについて、柔軟な発想を大切にし、活動を活発なものにしていく。 ・ 畑の活用として、さつまいもの栽培を考えていく。 ・ 乳児の畑への参加の仕方を検討していくと共に、土いじりや虫探し等の興味に繋げていく。
・ 近隣地域とのネットワーク作り ・ 危機管理、安全対策の強化	・ 近隣の学校施設との関わりを継続していくと共に、より充実したものにしていくために連携を図っていく。 ・ 年長を中心とした地域の保育園との交流を継続して、活動を楽しんでいく。 ・ 園庭門の施錠方法を検討していく。 ・ 様々な災害を想定し、近隣の学校の協力も得ながら、避難訓練の計画に取り込んでいく。
・ 職員間のチームワーク作りとスキルアップ	・ 職員間の相互理解を深め、他学年との協力体制を整えられるような関係作りを目標に行事や職員会議のあり方を再検討し、全員で考える職員会議にしていく。 ・ 職員の持っている特技や技術を出し合い、お互いを認めあえる機会を作り、自信に繋げていく。

# 平成28年度 東小岩おひさま保育園事業計画(案)

## 1. 保育方針

明るく、元気に仲良く遊ぶ子

保護者と共に子どもの生活リズムを整え、健康な生活・安全に必要な基本的な生活習慣や態度を身に付け、のびのびと生活できる環境を整えます。又、日々の積み重ねや周囲の人たちとの関わりを大切にし、一人ひとりの発育・発達を目指します。

思いやりのあるやさしい子

個性を大切にし、やさしさ・思いやり・勇気・感動を共有し、仲間や異年齢の友達を大切にする思いやりの心・感謝の気持ちを育ててまいります。又、動植物との触れ合いや飼育・栽培などを通して、命の尊さや道徳性の芽生えを培います。

自分の思いや考えを表現出来る子

生活や遊びの中で子どもが興味をもって楽しむことが出来る環境を整え、様々な経験(自然・音楽・運動・製作活動等)を通し、自由に表現する力を養っていきます。自分の力を発揮し充実感を味わいながら互いに認めたり自分に自信を持ち、豊かな心が育てられるよう努めます。

## 2. 現状の説明と今後の方向性

月反省で各クラスの子どもの育ちについて報告し、全職員で共有することに務めた。今後も実施し、共通理解のもと、保育を進めていく。

子育てひろばの需要は高まりつつあるが、今後も地域の方が訪問しやすい環境及び子育て相談しやすい体制を作っていく。

保護者は子育てに対する様々な悩みを抱えているため、子ども達の成長を共有すると共に、気持ちに寄り添い、丁寧に対応していく。

## 3. 重点目標

重点目標	内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・保育士資質の向上</li><li>・保育の質の向上</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・一人ひとりの気持ちに寄り添い、肯定的な言葉掛けを心掛け保育を組み立てていく。子ども達に対し、注意が必要な時は、怒るではなく、叱ることを心掛ける。</li><li>・保育課程を基本に各年齢の発達に応じた保育目標を立てる。</li><li>・発達段階に応じた遊び、玩具の重要性を考え、保育環境を整える。</li><li>・運動遊びを通じて身体機能の向上、丈夫な身体作りを目指す。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・保護者支援</li><li>・地域交流</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・家庭状況を把握し、保護者の悩みや相談を真摯に受け止め寄り添っていく。</li><li>・地域親子のニーズを把握し、子育てひろばの充実を図る。</li><li>・盆踊り指導等、行事を通して民生児童委員との交流を継続し、子どもも大人も身近な存在となるようにする。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・危機管理(防災・防犯)</li><li>・安全対策</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・BCP計画の見直しと共に、実践に応じた訓練を行い、危機管理に努める。</li><li>・園内外の危険箇所定期的点検及び必要箇所は計画的に修繕を行い、安全性を高める。</li><li>・園外活動における職員配置点検を行い、安全かつ円滑に行うための知識を身に付ける。</li></ul>

# 平成28年度 西篠崎おひさま保育園事業計画(案)

## 1. 保育方針

元気に挨拶ができる子

- ・規則正しい生活を送り、自分の安全を守る。

思いやりのある子

- ・友だちとの関わりあいの中で必要なルールを考え出し、集団生活の楽しさを知る。

感性豊かな子

- ・さまざまな生活を通し、積極的にいろいろな表現を楽しむ意欲を引き出し、情緒豊かな心を育み、感性と創造性を伸ばしていく。
- ・歩く、走る、跳ぶ等、戸外での活動を十分に楽しむと共に情緒が安定し、意欲的に遊ぶ力を育む。

## 2. 現状の説明と今後の方向性

自然に囲まれた環境の中で伸び伸びと活動できるよう、地域ボランティア活動への参加や地域の方への挨拶や交流を深める活動を継続的に行なった。遊びの環境作りとして、コーナー遊びが充実する設定を行った。

保護者対応等、一人ひとりに応じて話をするよう務め、保護者会役員との話し合いにより、行事等、変更事項への理解を得ることができた。

戸外遊びや運動遊びを保育に多く取り入れ、健康的な身体作り、転んでも怪我を防げる身体作りをした。

今後は更に環境作りや子ども達の身体作りをすると共に、異文化交流にも力を入れて行きたい。

## 3. 重点目標

重点目標	内容
・子ども一人ひとりの発達に応じた援助と環境作りをする。	・日々の生活の中に乳児クラスからリズム運動や器具遊びを積極的に取り入れ、健康な身体と運動機能の発達を促していく。 ・コーナー遊びを充実させ、子ども達が落ち着いて遊びに集中できる環境作りをする。 ・子ども達が自主的に考え、遊べる保育内容を考える。
・相手の立場に立った対応を考え身につける。 ・保育の向上のため、研修に参加する。	・相手を知るためのコミュニケーションを自ら進んで行う。園目標でもある思いやりの心を持ち、相手の立場に立った言葉かけや対応をしていく。また、コミュニケーションを高めるため、園内研修をする。 ・職員が研修に行った際には、全職員が共通理解をして知識を深めていく。
・危機管理、安全管理	・危機管理として毎月の避難訓練を実際に起きうる状況を想定して様々な訓練を行う。 ・防災意識を深めて子どもの安全、命を守ること、BCPを職員全員に周知する。

# 平成28年度 西小岩おひさま保育園事業計画(案)

## 1. 保育方針

### 健康で明るい子

- ・きちんとした挨拶が出来、基本的な生活習慣を身につけ、心身ともに健やかに成長出来るような保育を目指します。
- ・集団の中で、一人ひとりの人格を尊重し、気持ちを受け止め、子どもに安心感を与え、信頼関係が築けるような保育を目指します。
- ・保育に関する専門性を活かし、個人の状況や発達過程を踏まえた保育を目指します。

### 意欲と思いやりのある子

- ・何事にも意欲が持てるよう、子どもと共感、感動が出来るような保育を目指します。
- ・友達や大人に対して、思いやりや優しさ、特に異年齢交流を行う中での小さい子どもに対しての労わりの気持ちを育む保育を目指します。

### よく見、よく聞き、よく考え創造性のある子

- ・より良い保育を目指すために、保育環境を整え、生活や遊びの中で自らが意欲を持ち、興味、関心、創造が出来るような保育を目指します。

### 最後まで頑張れる子

- ・共感できる保育を行うことで何事に対しても粘り強く頑張る事が出来るような保育を目指します。
- ・小さなことに対しても、様々なことに挑戦し頑張ろうとする気持ちが育てられるよう、また認め共感しあうことで自信が持てるような保育を目指します。

## 2. 現状の説明と今後の方向性

開園7年目を迎え、区立保育園から引き継いできた異年齢児保育や西小岩おひさま保育園として取り組んできた行事内容や身体発達に繋げる体育活動等が定着してきた。保護者の声に耳を傾け、気持ちに寄り添った対応ができるよう意識し、関係を構築する中で、職員の経験、スキル等に個人差があり状況によっては対応や保育の中で不安等を感じさせてしまうこともあった。今後は、職員間のチームワーク、信頼関係を更に構築できるよう、研修等を通し、全体で取り組んでいけるよう努める。

## 3. 重点目標

重点目標	内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の資質向上</li> <li>・保育目標の再認識と学年、異年齢児保育、行事の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅職員が増える中で新人職員への指導をはじめ、皆が同じ意識で保育をすすめていけるよう園内外研修を通し、共通認識や理解を深めていく。</li> <li>・保育目標をしっかりと理解し、気持ちのこもった挨拶や個々の発達状況を把握し、子どもの気持ちに寄り添い、個を大切に作る保育に取り組む。また、異年齢児保育や行事の見直しを図り、より良いものができるよう努める。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、子育て支援と地域交流活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員一人ひとりが保護者とのコミュニケーションを大切に図りながら、信頼関係がより深く築けるよう心掛けていく。</li> <li>・地域状況を把握し、子育てひろば、熟年者交流等をすすめ情報発信を行い、必要なニーズに応えられるよう努める。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との関係を築く中で、必要な情報交換を行い、安心、安全の保育園運営ができるよう取り組んでいく。</li> <li>・職員のチームワークを更に築き上げながら日々、起こりうる危機に備えていく。</li> <li>・様々な危機に対し、その都度、職員全員で振り返りながら対応を刷新し、情報や知識を共有していけるよう努める。</li> </ul>

# 平成28年度 松江おひさま保育園事業計画(案)

## 1. 保育方針

「心も身体も健康な子」(意欲のある子。思いやりのある子。自分の気持ちのいえる子)

「よく食べ よく遊び よく眠る」子どもの生活を大切にします。保護者の方とともに生活リズムを整え、基本的な生活習慣を身につけていきます。身体をつくる上で大切にしてきたリズム遊びを継続します。一人ひとりの子どもを受け止め、子どもがそのことを実感し安心して過ごせるよう信頼関係をつくります。気持ちのよい挨拶ができる。素直に感動できる。生活そのものを楽しんでいくような保育園生活をつくります。

「友達と楽しく遊べる子」

保育の専門性を活かし、一人ひとりの個性や発達特性を深く理解し、発達や年齢にあった遊びや取り組みを計画します。子どもが興味を持ち、意欲を持って取り組めるよう援助します。自分の気持ちが伝えられること、相手の気持ちを分かり合えるなど、友達との関わりが深まるような細やかな保育を展開します。

「自分を表現でき、仲間と共感できる子」

日常の丁寧な保育の積み重ねとして行事を計画し、目標を持った取り組みをすることで、一人ひとりの子どもやクラス集団が高まっていくような保育を目指します。表現することの気持ちよさ、出来た時の嬉しさや達成感を共感しあい、節目のある生活を楽しめるようにします。

## 2. 現状の説明と今後の方向性

昨年度よりの継続になってしまうが、1番は、園内全般の改修を進めていきたい。建物面では区との協議が重要であるが、保護者も不便を感じている箇所を重点に進めていきたい。また、防災、防犯は大分改善された面も多々あるので、全職員に理解を深められるよう園内研修等も含め、共通認識を強化していきたい。

今後も民営化が続くと想定すると一人ひとり職員の法人に対する意識、やる気を伝承出来るようにしていきたい。

## 3. 重点目標

重点目標	内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の育成の部分は大きい。この法人の理念をしっかり理解、認識し、子ども達のために最善を尽くす意識を大切にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門的に何を子ども達にしていきたいか保育の大切さを今一度園内で検討する。</li> <li>昨年の反省を積極的に取り入れ、質の向上を取り入れる。</li> <li>保護者への伝達を再確認し、信頼関係を十分に築く。</li> <li>研修への積極的な参加と共に、それに対しての意見、検証、実践に活かしていく。統一認識する場を大切にしていく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>安全面、防火、防犯を重視し、施設の改修、強化の更なる取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年も様々な修繕は出来たが、必要な箇所が進められていないため、昨年の継続で予定を立て計画的に進めていく。</li> <li>防災訓練に関して保護者の意見も充分取り入れ、危険箇所等の見直しを実施する。</li> <li>マニュアル化は重視せず、臨機応変の対応をあらゆる視点から行う体制をとる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士確保の目的もあり実習生の積極的な受け入れ、ボランティアへのきめ細かな説明等、保育園への理解を頂く。</li> <li>現在一時保育受け入れを実施しているが、緊急一時への取り組みも検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習生、ボランティアの受け入れは定着してきている。保育士の確保に繋げていきたい。</li> <li>保育園での仕事が理解出来るようにしていきたい。</li> <li>子育てひろばは、より一層情報提供を行い、子育て相談に繋げるよう配慮したい</li> <li>一時保育は安定してきているので、今後の需要のある緊急一時保育の提供も考えていきたい。</li> </ul>

# 平成28年度 松本おひさま保育園事業計画(案)

## 1. 保育方針

自分の気持ちを素直に表現でき、思いやりの心が持てる子

- ・一人ひとりの個性を大切にし、みんなで助け合う心が芽生えるよう子どもの気持ちを温かく育む保育を目指します。
- ・友達との関わりの中で、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを分かり合える細やかな保育を展開し、目指します。

話しをよく聞き、何事もよく見て、よく考える子

- ・生活や遊びの中で興味や関心が持てるような環境を整え色々な経験を通して表現力を養い、自分の力を発揮できる保育を目指します。
- ・周りに目が向けられ、世界を広く感じることができる基礎きっかけを作る興味関心が持てるような保育を目指します。

意欲的に取り組み、最後まで頑張る子

- ・保育の中で子どもと共感できることを知らせ、何事も粘り強く頑張ることができる保育を目指します。
- ・どんなに小さいことでも取り組む姿を肯定して、やりぬく力を育てる保育を目指します。  
(創造性・表現活動)

## 2. 現状の説明と今後の方向性

保護者に保育内容を積極的に伝えることで、松本おひさま保育園の保育を理解していただき、保護者と共に子どもの成長を喜び、悩みを分かち合う関係が構築されてきた。同時に課題を持つ子どもや支えを必要とする保護者が多くいる中で、職員全体で情報を共有し、適切な対応をしている。生活習慣、生活リズムを大切に日常生活の中で身体を動かすことを重視し、保育士も園内外の研修で学んだことを活かし、いきいきと保育を行っている。

今後も「心もからだも元気な子」を目標に子どもの発達を様々な側面から一人ひとりの育ちに必要な援助を考えていく。また、安全管理や食育の推進においては、ますます意識を持って取り組む。

## 3. 重点目標

重点目標	内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの発達に応じた援助や環境を設定し、子どもの生活や遊びが豊かで主体的に行われるようにする。 (室内体操遊具、楽器、食器)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各年齢の発達に合わせた安心できる環境で保育士の丁寧な関わりにより、子どもは豊かな生活を送る。</li> <li>・わくわくデーや異年齢児交流では、毎日の生活に子どもの興味関心や好奇心を育て、潤いのある生活にする。</li> <li>・一人ひとりの子どもの育ちを的確に捉え、見通しを持ち保育士が日常生活において温かく関わる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と保育士、保護者同士の繋がりの中で、安心して子育てが行われるようにする。</li> <li>・地域との繋がりを深め、地域社会における責任を果たせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの子どもの育ちを共に喜び、考えていく姿勢を丁寧な関わりにより伝えていく。</li> <li>・保護者同士の繋がりが持てるよう、橋渡しをする役目を果たす。</li> <li>・関係機関と連携し、情報を発信共有する。</li> <li>・地域の方々に参加していただける行事を企画する。</li> <li>・子育てひろばや保育所体験を行い、子育て支援の場としての役割や機能を明確にする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全対策、危機管理等の取り組みにより、子どもが心身の健康を維持できるようにする。</li> <li>・保育士が専門性を高め、いきいきと働ける職場をつくる。 (玄関外灯・備蓄倉庫)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練や防犯訓練、アレルギー対応を含む安全対策等、様々な想定のもと取り組む。</li> <li>・保育の実践を保育指針に立ち返り、裏付けていくことで資質向上をしていく。</li> <li>・気づきや学びを伝え合うことで保育士同士認め合い、やりがいを感じられるようにする。</li> </ul>

# 平成28年度 清新おひさま保育園事業計画(案)

## 1. 保育方針

元気でのびのび遊ぶ子。(心も身体も明るく健康で、丈夫な子)

保護者と一緒になって、生活リズムを整え基本的な生活習慣を身につける。

コミュニケーションの基本である挨拶が、必要に応じてイキイキ・ハキハキと言える子。生きる力として、食育を大切にする。子どもが安心して居心地よく過ごし、「明日も来たい!」と思える園生活を目指す。

よく見・よく聞き・よく考える子。

保育の専門性を活かし、豊かな活動と遊びを展開し、一人ひとりの発達の援助を行う。身近な自然に触れ本物に出合う体験を、大切にする。脳や身体機能(運動・知覚・認識・言語)を促す系統的なリズム遊びを楽しんでいく。絵本の読み聞かせを大切にし、豊かな言語環境を育む。生活や遊びの中で、子どもが”今”何をするのかを自ら考える事を大切にしていく。

友達を大切にし、思いやりのある子。

異年齢集団の交わりを大切にし、いたわりの心や成長への憧れの気持ちを育む。日常の保育の積み重ねとして行事を計画し、目標を持った取り組みをすることで一人ひとりの子どもや、クラス集団が高まっていくような保育を目指す。何よりも友達と一緒に生活を喜び、ぶつかり合いながらも自分の思いを伝え、友達の気持ちを認める関係を大切にする。

## 2. 現状の説明と今後の方向性

恵まれた環境の中、子ども達一人ひとりを大切に全ての子どもを全職員で見守る保育を進めている。そのためにリーダー層を中心とした会議を毎月定例開催し、リーダーが議題をあげクラス運営や行事等について話し合い、スムーズに進むようにしている。

また、男性保育士による体育教室やリズムあそび、英語あそび等を通して身体機能を高め、言語環境を育むことを目的に子ども達の発達に見合った内容の充実を図る。地域との関係を今後も密にし、近隣の公立保育園と共同で地域のお祭りに参加、平成28年度民営化予定園の(仮)清新第二おひさま保育園とも協力しながら様々な行事を通して在宅支援の取り組みをしたい。

そのためにも、日々関わる職員の育成が課題となるが、平成27年度途中より「サブ会議」というものを実施し、中堅層の意識や自覚を育てるようにし、新しい発想や意見を大切にしている。

## 3. 重点目標

重点目標	内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・明日も来たいと思える保育園</li><li>・子どもの自発性、自主性を活かした保育を大切にする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・保育目標について職員一人ひとりが理解を深め子どもの自主性、自発性を育てていく視点を捉え、積極的に散歩に出かけたり全身を動かす表現あそびを楽しんでいく中で、明日も来たいと思える保育園作りをする。</li><li>・各年齢の発達を踏まえ、一人ひとりの思いを大切にし、共感できるようにする。</li><li>・乳児保育は少人数による丁寧な保育を課題にすると共に、支援が必要な子どもについては、臨床心理士の定期的な助言を受けながら、全員で対応する。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域から頼られる保育園、保護者が安心していきいきと子育てができる保育園</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・中学校のチャレンジザドリームや近隣の専門学校の実習を始め、卒業研究課題への取り組みのサポート等、保育園機能を活かした支援を継続的に行い、地域との関係を大切にする。</li><li>・働きながら子育てをする保護者に子育てのやりがいや楽しみを感じてもらえるように、保護者と職員が共に学びあい共感しあえる保育園作りを目指す。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・危機管理意識を深め安全、安心の保育園作り</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・日々のヒヤリハットの情報を職員間で共有し、見直しや振り返りを行い、危機管理の意識を高めるようにする。</li><li>また、防災、防犯に関しても毎月の避難訓練や定期的な不審者対応訓練を通して更に強固なものにし、子ども達の尊い命を守る意識を高める。</li></ul>



# 平成28年度 小松川おひさま保育園事業計画(案)

## 1. 保育方針

心も身体も健やかな子

- ・家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりの発達や個性・笑顔を大切にし、心身ともに健やかな子どもを育てます。
- ・色々なことに興味関心を持ち、よく考え意欲を持って取り組めるよう援助します。  
(自分の意見がはっきり言える子、聞ける子、共感できる子、感動できる子)

思いやりのある子

- ・友達との遊びや異年齢児との関わりを通じて、相手に親しみを感じ、思いやりのある人間性豊かな心を育みます。
- ・身近な人との相互的な関わりを深める中で、信頼感や安心感を育み感謝の気持ちを大切に保育を目指します。

自分に自信の持てる子

- ・様々な経験を通して、物事をやり遂げようとする気持ちを大切にし、達成した事を喜びあえる子どもを育てます。
- ・身近な人との関わりの中から自分は「愛されている」「大切にされている」と感じられる温かい保育を実践します。

## 2. 現状の説明と今後の方向性

地域の自然環境を活かした園外活動の充実が保護者から喜ばれている。季節毎に工夫された活動では、地域の豊かな自然を肌で感じながら伸び伸びと過ごしている。平成27年度は、体力向上を目指し運動を取り入れた活動に取り組んだ。各クラスがリズムあそび、鉄棒、マット等に取り組み、運動会で成果を保護者に見せることができた。年度末にはクラス毎に取り組みの発表を予定している。9月より夜間警備が始まり、夜間は人通りの無い立地のため、保護者から安心したという声も出ている。避難訓練では、津波を想定し、園舎上階の10階まで避難したが、幾つかの課題も見つかった。昨年からはじめた一時保育は94名の登録があり、毎月予約日には30分で予約が一杯になる程、ニーズは高いが、予約が取りにくいとの声もあり、今後の工夫が必要と考えている。

## 3. 重点目標

重点目標	内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・園目標に基づいた保育の充実</li> <li>・専門職としての質の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の基本理念、園目標に基づいた保育を職員一人ひとりが心がけ、子ども達一人ひとりの個性や笑顔を大切に保護者と共にその育ちを見守る。楽しみながら体力向上（体を動かす）取り組みとして体操あそびを3・4・5歳児対象に定期的実施、保育の充実を図る。</li> <li>・全職員が専門職としての自覚と責任を持ち、個々の成長が組織の質の向上に繋がるよう努力をしていく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修の充実</li> <li>・安全対策、危機管理、防災対策の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの目標を持ち、積極的に研修に参加する。園内研修は、与えられた研修を受けるのではなく、職員が内容を企画し合い、主体的な研修に取り組む。</li> <li>・様々な災害を想定した訓練を毎月行い、地域と連携した訓練にも積極的に参加する。備蓄品の把握、使い方、全職員が落ち着いて行動できるよう日頃から確認を行う。</li> <li>・ヒヤリハットの共有と活用の工夫。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援の充実</li> <li>・家庭との連携 (信頼関係の再構築)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時保育、子育てひろば、保育所体験を通じて子育ての情報提供を行い、在宅で子育てしている家庭の支援や出産前後の保護者の育児不安の解消を図る。</li> <li>・一時保育の予約方法の工夫。</li> <li>・第三者評価の結果を踏まえ、登園時の声かけや降園時に1日の様子を伝え、丁寧な対応やコミュニケーションを図り、保護者との更なる信頼関係を深めていく努力をする。</li> </ul>

# 平成28年度 南葛西おひさま保育園事業計画(案)

## 1. 保育方針

### ありがとうのころ

生活の基本「挨拶」を身に付け、人・物・出来事に感謝する心を大切にします。

### かんじるころ

五感を使って喜怒哀楽を存分に体験し、豊かな感情と思いやりを育みます。

### やってみようのころ

よく見、よく聞き、自分で考え行動する、意欲的な力を身に付けます。

## 2. 現状の説明と今後の方向性

改修後、様々な面の見直しを行ってきた。特に、保育面ではリーダー層の育休が多く、新リーダーや新規採用職員の育成に力を注ぎ、園目標に沿った保育内容の取り組みの見直しを進めた。保育室内の環境設定を整えた結果、子ども達の生活や遊びが変わり、成長面で良い影響が出ている。また、それとは逆に進級後に発達障害のある子どもの行動が他児の生活に大きな影響を与えたり、保護者と障害の部分での話がスムーズにいかなかったりと、保育士のメンタル面の配慮も必要であったため、月に2回臨床心理士に保育に入ってもらい、アドバイスをいただきながら取り組んでいる。専門家に相談できる点が、保育士の安心感にも繋がり良い結果となった。引き続き、保育の安定を目指し、子ども達が3つの園目標を基に生活出来るよう保育を整えていく。保育の向上のため、4クラスに電子ピアノを購入する。

## 3. 重点目標

重点目標	内容
<ul style="list-style-type: none"><li>子ども達の気持ちや姿を丁寧に受け止め、園目標を基に心の成長を目指した保育の取り組みを進めていく。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>喜怒哀楽を存分に体験できる保育を展開し、気持ちの成長に繋げる。</li><li>常に前向きな言葉掛けを行い、小さな成功体験を味わうことで自信に繋げる。</li><li>明日も保育園に行こうと期待の持てる環境作りをする。</li><li>職員それぞれが、アイデアを出し合い、園目標を達成する保育を行っていく。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>相手（子ども、保護者、地域の方、同僚）の目線に立った対応を身に付け、信頼と安心の関係作りをする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>第一に相手を知るためにしっかりコミュニケーションを図る。</li><li>常に相手の笑顔を想像し、対応する。</li><li>「相手の笑顔が報」である福祉の心を園内研修等で学ぶ。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>子ども目線に立った危機管理の徹底と、訓練の実施を行う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>日々のヒヤリハット報告から、子ども達が安全に過ごせる環境と保育の体制作りや保育の視点の確認を常に行い、職員同士、気付き、伝え合える関係作りに努力する。</li><li>避難訓練では「子どもの命を守る」ことを第一に、反省を活かした取り組みを実践していく。</li></ul>

# 平成28年度 中葛西おひさま保育園事業計画(案)

## 1. 保育方針

元気に仲良く遊ぶ子

- ・健康な生活、安全に必要な基本的な生活習慣を身に付けます。
- ・のびのびと生活できる環境を整えます。
- ・一人ひとりを大切に個性に合わせた保育をします。

思いやりのある優しい子

- ・日常生活の中で感じる心を大切にします。
- ・温かな関わりの中で豊かな心と自信の芽を育てていきます。
- ・やさしさ、思いやり、勇気、感動を共有し友達との関わりを大切にします。

自分の思いや考えを表現できる子

- ・自分を認められ、愛され、安心して過ごせる環境をつくります。
- ・自ら面白さを感じて遊びを作り出せるよう援助します。
- ・様々な経験を通して自由に表現し豊かな心を育てます。

## 2. 現状の説明と今後の方向性

10月より地域子育て支援事業として子育てひろばを開始した。地域的に需要は高く、利用者に喜ばれている。在園児との交流等も意欲的に計画し、関わりの持てる取組みにしていきたい。初年度は引き継ぎ内容をしっかりと確認しながら進めてきたことで、保護者との信頼も深められているのを実感している。引き続き日頃の会話の中で子どもの様子を丁寧に伝え、信頼関係を深めていきたい。職員集団として、信頼と連携を深められるよう意識してきた。予定していた園内研修が思うように進められなかったため、共通理解を増やしていけるよう意識を持ち、取り組んでいきたい。開園2年目を迎えるので、私立保育園として特色ある保育を展開していけるよう、職員一丸となって進めていきたい。

## 3. 重点目標

重点目標	内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・健康な身体作り</li><li>・異年齢児交流の充実</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・生活リズムの大切さを伝え、自分の体を知り、年齢に合った運動遊び（サーキット・ヨガ等）を通し、バランス、柔軟さを育て、体力を向上していく。</li><li>・異年齢児との交流を深め、思いやりや優しさ、憧れの気持ちを育て、心の成長を図る。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・保護者との信頼関係を深め、家庭環境に応じた支援をする。</li><li>・地域の子育て支援</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・個々の家庭環境を理解し、適切な支援をする。保護者会、父母会、行事、日常の中で保護者が知りたい子どもの様子を伝えられるよう日々の会話を充実していく。</li><li>・子育てひろばの充実、情報発信、子育て相談に力を入れ、育児家庭を応援し、地域に開かれた保育園作りをする。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・チームワーク</li><li>・安全対策</li><li>・危機管理</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・職員一人ひとりが他クラスにも関心を持ち、園全体の見通しが持てるよう意識を持ってコミュニケーションを深める。</li><li>・防災、防犯、事故、感染症等、実際に近い状況を想定し、具体的な訓練を実施し、冷静に行動する力を身に付ける。</li><li>・地域との連携を図りながら協力体制を作り、様々な危機に対して備える。</li></ul>

# 平成28年度 松島おひさま保育園事業計画(案)

## 1. 保育方針

心身ともに健康な子

日常生活の中で感じる心を大切にします。

基本的な生活習慣を身につけ、食育・運動・リズムなど身体づくりを進めます。

思いやりや感謝の気持ちが持てる子

自分の気持ちを伝えること、相手との関わりあいを大切にして、コミュニケーション力を育てます。

日常の保育の積み重ねとして行事を計画し、一人ひとりの子どもやクラスの集団が高まり豊かな関わりを持つ保育を目指します。

よく見て、よく聞き、よく考え行動できる子

生活や遊びの中で興味や関心が持てるような環境を整え、色々な経験を通して表現力を養い、自分の力を発揮できる保育を目指します。

## 2. 現状の説明と今後の方向性

開園2年目を迎え、子ども達は、安定している。昨年同様引き継いだものの1つとして、子ども一人ひとりを大切に、気持ちに寄り添い、年齢に応じた丁寧な保育を行う。保護者に対して何気ない日常の中からコミュニケーションを図り、信頼関係が構築しつつある。今年度は、職員一人ひとりの専門性を活かし、職員間で共有し、学び合える保育をスキルアップできるよう園内研修として、学ぶ会にする。

大規模改修工事の予定のため、安全に十分配慮しながら、子ども達の生活に支障が無いよう環境を整え、保護者にも不安を与えないように、丁寧な対応をしていきたい。

## 3. 重点目標

重点目標	内容
<ul style="list-style-type: none"><li>一人ひとりの育ちに寄り添い、生活や活動の環境を整え、より豊かに発達出来るような援助</li><li>保護者との信頼関係の構築</li><li>アレルギーの対応</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>子どもの思いを大切に、その気持ちに共感できるようにする。</li><li>子ども一人ひとりの発達を踏まえ、年齢に応じた保育、環境を作り、子どもの向上心を高めていく。</li><li>保護者の思いに寄り添い、日常の関わりで丁寧な対応を心がけ信頼関係を築いていく。</li><li>アレルギー児については、関係者と連携を図り、安全に提供できるようにする。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>安全対策の強化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>不審者対応、不審者侵入時や散歩時に暗号で周りの職員に知らせる。</li><li>避難訓練は、様々な災害等を想定し、時間、場所等を固定せず柔軟かつ臨機応変に行動できるよう訓練を行う。</li><li>来年大規模改修工事に伴い暖房器具等の効きが悪く乳児室床暖房の設置要望の為、保護者に不安なく安全に気を配り生活できるようにする。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>地域への取組み</li><li>職員の連隊・保育の向上</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>子育てひろばの内容の充実、近隣のお年寄りや小中高校生を行事に招き、様々な年齢の方と交流を図る。</li><li>地域の行事に積極的に参加し、実習やボランティアを受け入れ、繋がりを深め、地域に根差した保育園作りを行う。</li><li>社会的状況を踏まえ、ニーズにあった保育、保護者対応を心がける。外部研修の報告を叩き台に園内研修として行う。</li><li>報告連絡相談を再認識し、漏れの無いように対応する。</li></ul>

# 平成28年度 (仮) 清新第二おひさま保育園事業計画(案)

## 1. 保育方針

### 元気に遊ぶ子

子ども達が、安全で安定した生活ができるよう、明るく夢を持ち自発的、意欲的にかかわれる環境づくりをし、健全な心身の発達が図れるような取り組む。

### 思いやりのある子

誰に対してもやさしく思いやりを持って接することができ、労わる気持ちや感謝の気持ちが育つような取り組む。

### よく見て、よく聞いて、よく考える子

子ども達の五感を使い創意工夫や想像力を伸ばし子どもの感性を育てていく事を目的とした取り組みを行う。

### 最後まで頑張る子

子ども達が様々な事に挑戦し、最後まで諦めない気持ちや頑張る気持ちが持ち、出来た喜びや達成感が味わえるような取り組みを行う。

### 自分に自信が持てる子

子ども同士や大人との信頼関係を深め、自分の気持ちや考えを自信を持って表現できるような取り組みを行う。

## 2. 現状の説明と今後の方向性

民営化初年度ということもあり、区立保育園の保育を引継ぎいだ事業を実施。その中でおひさま保育園の特色をどのように出していくかを考え、職員との話し合いや研修等を実施し、取り組みたい。子どもとの関係作りを第一に考え、子どもの発達や興味に応じた保育内容の設定を行い、日々の保育や行事の目的やねらいを明確にしていく。子ども達が経験を通して成長する姿をひとつひとつ確認し、職員だけでなく保護者と一緒に共通理解を深めていく。また、危機管理についても防犯カメラ、夜間警備の導入を行う。

第三者評価を受審、結果を分析し、次年度以降に繋げられるよう、現状をしっかりと把握し、安全安心信頼される保育園運営を行うために引継ぎ後の遊具、道具等の整備を行い、より安全に努めた保育園運営ができるよう努める。

## 3. 重点目標

重点目標	内容
<ul style="list-style-type: none"><li>園児一人ひとりの発達を把握し、子ども達が安心できる関係づくりを築けるような保育を行う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>子ども一人ひとりの発達を把握した保育を行い、子ども達の想いに共感し、安心出来る信頼関係作りを行う。</li><li>引き継いだ保育内容を大切にしながら、子ども達が保育園に安心して通える、また、楽しいと思える保育の内容を作る。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>保護者との信頼関係を築く。</li><li>地域に愛される保育園づくり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>民営化1年目ということもあり、保護者と一緒に作り上げる保育、また、子どもの育ちを共感できるような取り組みを行い、意見や要望等、話やすい環境を整え、信頼関係を築いていく。</li><li>地域性を活かした保育園、地域と共存していく保育園作りを目指し、地域のニーズを確認していく。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>新規保育園づくりを行うため、職員同士の意識の統一と連携</li><li>危機管理の徹底</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>保育方針や目標を職員が理解し、意見を出せる環境を整え、チームワークを大切にし、共通認識、意識の統一を図る。</li><li>環境、事故、防災、防犯等危機管理についてマニュアルを共通の認識とし、子ども達が安心安全に過ごせる環境を整備する。</li></ul>